

令和5年度

「市長が訪問します」

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和5年10月17日（火）
10時00分～11時00分
2. 開催場所 高山市民文化会館 2-3会議室
3. 参加者 ユーターンシップサポーターズ
参加企業のうち6社の担当者、事務局



テーマ 飛驒地域の将来について

～若者がユーターンするには

行政とユーターンシップが協力してできること～

■ユーターンシップとは

- ・ インターンシップや会社見学等の学びの場を通じて、地域活性化をサポートする飛驒の企業の集まり
- ・ 活動の目的は、飛驒地域に興味のある学生が、飛驒地域や飛驒の企業を深く知り活躍の場として飛驒の企業を「選択肢のひとつ」とすること

■ユーターンシップサポーターズの活動内容

- ・ インターンシップとUターンを融合した「学びの場」で飛驒地域と学生をつなぐ活動（
- ・ 飛驒のことや飛驒の企業を知ってほしい、長く勤めてもらえる人材がほしい、飛驒で活躍してほしいと願う「飛驒の会社」と、学んだことを活かしたい・試したい、学びのヒントを得たい、職業選択の能力を身につけ自分の適性を知りたい「飛驒に興味がある学生」のミスマッチを防ぎ、Uターンのきっかけづくりで飛驒地域の活性化につなげる
- ・ 飛驒地域に合った学生・社会人・会社・地域をつなぐプラットフォームの構築
- ・ インターンシップ実施（対話型・体験型）、バスツアー開催

■ユーターンシップと行政が協力してできることの提案

- ・ 地元の職業や企業等を知らない高校生たちに、地元にいる間に地元の良さや凄さを知ってもらうために、事業所は会社見学やインターンシップを開催し、行政は授業の一環として社会見学やインターンシップを推進することとユーターンシップのPR支援を行う
- ・ イベント開催やサービス提供等の情報を、事業者はコンテンツとして提供し、行政はポータルサイトの設定や見せ方を工夫したPR支援、プレゼン支援を行う
- ・ 地域で生活していくイメージやそれを同世代で共有し、横のつながりを強くすることで効果を波及させるため、事業者と行政が「つどい」の設定と参加を推進する（新規就職者だけでなく、入社3～5年目、子育て世代など）
- ・ 地元にある企業や業種、産業に新しい価値や付加価値を創出したり、高度化・専門化するために、産学官が連携し、地域のことを具体的に議論する場を増やし新たな価値を創出する

■市長から感想等

- ・ 誰に伝えたいのか意識しながらの活動で、飛驒のこと（産業構造）を知らない高校生に向けた郷土教育であると感じる。いったん市外へ出た方に情報を伝えることは課題で、ユーターンシップでは高校生のうちに接点を作ることで飛驒の良さ・凄さを伝えて「自分たちが活躍できること」をイメージさせることが重要だと改めて感じた。